

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	浄化センター所長	永田 直樹	
都整-47	実施事業	雨水排水施設維持管理費(特別会計)	自治事務	主管課	浄化センター
			法定受託事務	関連課	下水道河川課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	下水道の整備・管理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。
効果	低地排水ポンプ場及び河川・水路護岸等の雨水排水施設の良好な状態を維持する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

低地排水ポンプ場について、良好な状態を保持するため、定期点検等を専門業者に委託した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	3,196	3,186	当初予算(千円)	26,124		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他	750		
	一般財源	3,196	3,186	一般財源	25,374		
事業経費運営	人員配置数	0.5	0.5	人員配置数	0.5		
	人件費(千円)	3,790	3,824	人件費(千円)	3,887		
	総事業費(千円)	6,986	7,010	総事業費(千円)	30,011		
	市民1人当りの経費(円)	40	40	市民1人当りの経費(円)	170		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	磨耗部品交換や定期整備など適正な維持保全を行い、突発故障の防止に努めてきたが、経年で機器更新が必要な時期となっていることから今後は維持管理費の増大が見込まれる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	磨耗部品交換や定期整備など適正な維持保全を行い突発故障の防止に努めてきたが、稼働後40年近くを経過した機器類の延命化にも限界があり機器更新が必要な時期となっていることから、今後、維持管理費の増大が見込まれる。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	機器類の補修による延命化にも限界があり、既に機器更新が必要な時期となっているが、この場合、経常的な維持管理経費では対応が困難である。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	老朽化した機器が良好に作動し続けるよう、突発的な故障の予防に努めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	今後は機器更新を、国庫補助事業の活用も図りながら計画的に進めていく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由		H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--